

2014(平成26)年3月期 第1四半期決算補足資料

(2013年4月1日～2013年6月30日)

1. 2014.3期第1四半期実績

(百万円)

	'14.3期1Q 実績	'13.3期1Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	7,647	6,727	+920	+13.7%
営業利益	2,135	878	+1,256	+143.0%
経常利益	2,343	1,028	+1,315	+128.0%
四半期純利益	2,137	669	+1,467	+219.3%
研究開発費	1,294	1,532	-237	-15.5%
研究開発費率	16.9%	22.8%	-5.9pt	-
営業利益率	27.9%	13.1%	+14.8pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	37.62	11.78	+25.84	-

<第1四半期実績と前年同期実績との差異要因>

売上高: 米国向け単回投与製品ジェル・ワンをはじめとする海外医薬品の販売数量増加や、円安効果により増加。
(+920) なお、売上高全体への円安効果は約4億円。

- ・国内アルツは、医療機関納入本数が増加し市場シェアも拡大したが、当社売上は販社在庫調整により減少。
- ・米国向けスバルツは、一部民間保険会社の償還非推奨の影響が残っており現地販売は減少するも、円安や販売提携先が在庫水準を高めたことにより当社売上は増加。
- ・中国向けアルツは現地販売が20%以上伸びるなど引き続き好調。当社売上も、円安に加え販売提携先が在庫水準を高めたことで大幅に増加。
- ・米国向けジェル・ワンは、大手医薬品卸向けの販路確立に向けた施策が順調に進捗しており、売上が増加。今後、市場浸透を加速させていく。

営業利益: 増収に加え、前年同期に各開発テーマが進捗し費用が高水準となった反動で研究開発費が減少し、増益。
(+1,256) 前年同期はジェル・ワン訴訟費用があったことも増益要因。

四半期純利益: 営業外収益において、保有外貨建資産の為替評価益を計上。事業効率の向上を目的とした久里浜工場集約に伴う特別損失を計上した一方、特別利益で投資有価証券売却益があり、大幅な増益となった。
(+1,467) また、高萩工場が引き続き優遇税制の対象になっていることも増益要因。

※事業効率向上を目的とした取り組みを引き続き検討しており、通期においても特別損失の追加発生する可能性があります。

2. 2014.3期第1四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'14.3期1Q 実績	'13.3期1Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'14.3期予想	'13.3期実績
【医薬品事業】	6,629	5,825	+804	+13.8%	25,750	23,125
国内医薬品	4,412	4,383	+28	+0.7%	18,800	17,767
海外医薬品	1,902	1,095	+807	+73.7%	5,500	3,940
医薬品原体	314	346	-32	-9.3%	1,450	1,417
【LAL事業】	1,018	901	+116	+12.9%	4,150	3,513
合計	7,647	6,727	+920	+13.7%	29,900	26,639
(海外売上高)	2,606	1,654	+951	+57.5%	8,500	6,311

3. 通期業績予想と進捗率 (2013年5月10日に公表しました予想に変更ありません)

(百万円)

	'14.3期 予想	'13.3期 実績	前期比		'14.3期1Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	29,900	26,639	+3,260	+12.2%	7,647	25.6%
営業利益	4,550	3,126	+1,423	+45.5%	2,135	46.9%
経常利益	5,000	4,302	+697	+16.2%	2,343	46.9%
当期純利益	4,050	3,256	+793	+24.4%	2,137	52.8%
研究開発費	7,050	6,838	+211	+3.1%	1,294	18.4%
研究開発費率	23.6%	25.7%	-2.1pt	-	16.9%	-
営業利益率	15.2%	11.7%	+3.5pt	-	27.9%	-
1株当たり当期純利益(円)	71.29	57.33	+13.96	-	37.62	-

以上